

令和4年度市民大学前期講座アンケート結果概要

1. 受講者数・年代 ※アンケート結果 1-(1)

- ・受講者数は、6講座合計で322名、受講率（受講者/定員）は63.1%であった。
- ・受講率が最も高かった講座「日本の文化と季節の行事 110.6%」
最も低かった講座「脱炭素社会 27.1%」
- ・年代別では60代以上で受講全体の約60%を占めている。50代で27.0%で40代以下では全体の12%となっている。

2. 講座満足度 ※アンケート結果6

- ・講座全体で81.9%となり、令和3年度（73.7%）を上回った。
- ・満足度が最も高かった講座は「佐渡島の金山」の講座で89.5%
最も低かった講座は「暮らしに役立つ工学の最先端」69.6%
- ・「暮らしに役立つ工学の最先端」受講者から「内容が高度過ぎて、わからないことが多い。」「内容が思っていたのと違った。」といった意見があった。

3. 今後何かに生かしていきたいか ※アンケート結果8

- ・88%の人が「大いに生かしていきたい」「ある程度生かしていきたい」と思っている。

4. 自宅でのオンライン講義について ※アンケート結果11

- ・「参加する」と回答した受講者は36.8%であった。
年代別 30代 62.5% 40代 75.0% 50代以上 約30~40%
- ・インターネット動画ライブ（会場受講）でも、30代で50.0%、40代で80%の受講者が「参加する」と回答した。

5. 学んでみたい分野について ※アンケート結果13

- ・第1位「芸術・文化」15.5% 第2位「歴史」14.6%
- ・第3位「医療・福祉・健康」10.7% 第4位「新潟について」10.6%

【令和5年度の実施に向けて】

①オンラインの活用

受講方法について、若い世代でオンラインの需要が高く、「会場への移動が負担に感じるので、Zoomは有難い」「平日夜間の時間が有効に使える」などの意見があった。誰もが学びやすい受講方法としてオンライン講座やオンライン動画の配信を行う。

②分かりやすい講義

受講者満足度を高めるため、設定した講座のテーマに各回の内容が沿っていることや難しすぎない講義を実施する。